

與那原驛舎新聞

2023
10月号

【発行所】
軽便 与那原駅舎展示資料館
与那原町字与那原 3148-1
TEL 098-835-8888

【発行人】
株式会社 YUKAZE (指定管理者)

旅本マルクト & オクトーバーフェスト 開催のお知らせ

与那原駅舎では、鉄道の日関連イベントとして10月21日(土)～22日(日)に乗り物や旅行に関する古本を販売する「旅本マルクト」を開催いたします。(ポーターインク主催ブックパーティー2023関連イベント)

また、1914年(大正3)の県鉄開通式ではビアホールの出店があり、さらに県鉄がドイツ製の機関車を保有していたことにちなみ、駅前広場でクラフトビール(AGARIHAMA BREWERY)が飲めるオクトーバーフェストも同時開催します。



開催のお知らせ

【日程】
10月21日(土)～22日(日)
各日10時～18時

【場所】

軽便与那原駅舎展示資料館
および駅前広場

【入館料】

無料
※通常は町外100円

【出店者】

- 波止場書房(古本)
 - ゆいれール(グッズ)
 - Yuna(雑貨)
 - わたろつと(タロット占い)
 - 豆星珈琲店(コーヒー)
 - Number13(コーヒー)
 - AGARIHAMA BREWERY (クラフトビール)
- ほか

【駐車場】

駅舎駐車場は思いやり駐車場1台のみとなります。
※与那原町役場駐車場や上の森公園駐車場など近隣の駐車場をご利用ください。飲酒を予定されている方は公共交通機関をご利用ください。



(上)前回イベント(ブックカフェ)の様子
(左) AGARIHAMA BREWERY のクラフトビール

駅舎コラム⑤

県鉄とビール

与那原駅舎では10月にビールが飲めるオクトーバーフェストを開催します。

「なぜビール？」と思うかもしれませんが、実は1914年(大正3)の県鉄開通式で那覇駅にビアホール(ビアガーデン)が設けられており、それにちなんでいいます。ところで、開通式ではどのようなビールが飲まれたのでしょうか。生ビールや缶ビールは戦後

学芸員による展示解説

学芸員による展示解説は、団体だけでなく個人の来館者向けにもおこなっております。10分～20分程度で、無料です。ご来館の際にお気軽にお声かけください。ただし、学芸員が在館のときに限りますので、確実に解説をご希望されるお客様は事前にご連絡いただけると幸いです。

資料・写真・思い出話を募集しています

当館では沖縄県鉄に関する資料(切符、辞令書など)・写真・思い出話を募集しております。何かございましたら、ぜひ一報をお願いします。



与那原町立 軽便 与那原駅舎 展示資料館

戦前の沖縄にあった沖縄県鉄道(沖縄県営鉄道/軽便鉄道)。その与那原駅の駅舎を2014年度に復元しました。沖縄県鉄道の歴史や鉄道関係資料を展示する小さな鉄道資料館です。

開館時間 10:00 ▶ 18:00
休館日 火曜日、12/29-1/3
入館料 ¥100 (町外)

【入館料無料】町内在住・通勤通学/小学生以下/「障害者手帳」をお持ちの方とその介助者/まち歩きガイドの一行/学習を目的とした団体の講師

公式サイト、SNS
<https://www.yonabaruekisha.com/>

@yonabaru_station @keibin_yonabaru

に普及したので、瓶ビールだったことは確かでしょう。また、当時の新聞広告にはキリン、アサヒ、サクラなどの銘柄が見えます。県内の商店が代理店となり、大手のビールが流通していました。ビアホールでもこれらの銘柄が振る舞われたと思われます。開通式から109年。今年、駅舎で振る舞われるのは与那原の地ビールです。ぜひビールを飲みながら、百年分の歴史に思いを馳せていただければと思います。(学芸員K)